

## 「愛媛果試第14号」について

本県の気候風土に適した優良なカンキツ新品種の育成を目的として、交雑育種を続けているが、これまでに一次選抜した系統の中から今年度新たに、愛媛果試第14号を、種苗法に基づき品種登録申請した。

愛媛果試第14号はアンコールを種子親に用い、大谷イヨカンの花粉を交配して育成した、豊産性で糖度が高く、風味の良い晩生のミカン類である。

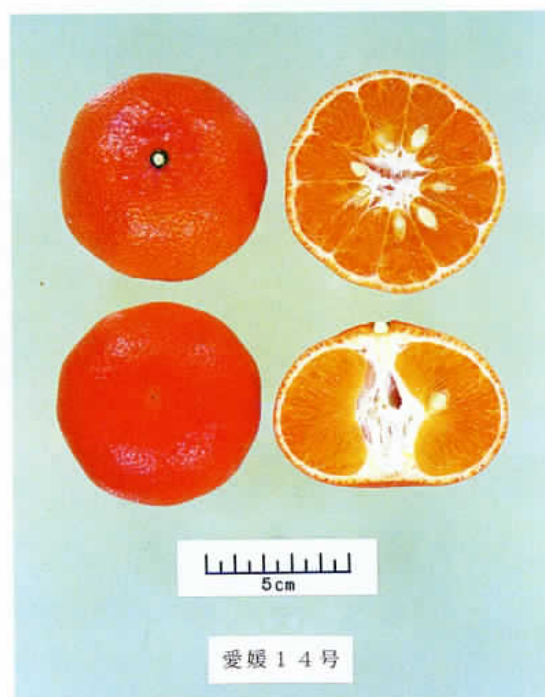
果実は約200g程度で、アンコールに似ている。果形は扁平で玉揃いがよいが、果梗部周辺が少し盛り上がり低いネックを生じる。果皮がやや硬く果実のしまりがよい。果皮の色は赤みが濃くアンコールに近いが、果皮障害の発生は少ない。剥皮性は、イヨカンに比べるとやや容易で、アンコールに由来する香りが強い。

糖度は13～14度と伊予柑に比べてかなり高く、露地栽培の果実でも、ハウス栽培のアンコールに匹敵する品質となるが、減酸は遅く成熟期は3月以降である。また、種子がやや多いが、袋はイヨカンより薄くそのまま食べられる。

樹姿は伊予柑に似ており樹勢はやや強い。

葉の形はイヨカンに比べて細長い。トゲの発生は結実し始めると少なくなる。結実性は良く豊産性である。病虫害には比較的強い。

3月以降に出荷される本県特産の伊予柑を補完する品種として期待できるので、現在現地適応性調査のための試験を実施している。



愛媛果試第14号

(主任研究員 喜多景治)

表1. 愛媛果試第14号の果実品質 (愛媛果試本場)

分析日	一果重 (g)	果形 指数	果肉 歩合 (%)	糖度計 示度	クエン 酸含量 (g/100ml)	甘味比
7.12.28	183	130	74.9	12.2	2.04	6.9
8.12.26	220	114	74.0	13.3	1.90	7.0
10. 2.20	216	123	70.0	15.7	1.89	9.2
11. 1.20	223	135	75.4	13.8	1.46	10.6
12. 2.22	190	120	74.1	13.6	1.39	11.0

表2. 宮内イヨカンの果実品質(愛媛果試本場平年値)

分析日	一果重 (g)	果形 指数	果肉 歩合 (%)	糖度計 示度	クエン 酸含量 (g/100ml)	甘味比
12.20	294	117	67.4	10.4	1.50	7.6